



# 向上の坂

## 『やり抜く力』

第31回体育大会は、本校生徒の「闘志」(苦しい時にこそ頑張る心であり、最後まで諦めない心であり、力の全てを出し切ろうとする心)と「絆」(どんな時でも、お互いに励まし合い、助け合い、勝者を心からたたえ、敗者に思いをよせる。そして全体が一つになることの力強さ)を余すことなく発揮した全員の心に残る体育大会となりました。この体育大会での生徒の皆さんの一生懸命の姿に感動しながら、『GRIT (やり抜く力)』(ペンシルベニア大学心理学教授 アンジェラ・ダックワース)



を紹介し、著者は、「私たちが人生のマラソンで何を成し遂げるかは、『やり抜く力 (GRIT)』に大きくかかっている、『やり抜く力 (GRIT)』とは『長期的な目標に向けた「情熱 (passion)」と「粘り強さ (perseverance)」がなすもの』であり、「才能」にこだわっているとこの単純な真実を見失ってしまう。」と述べています。そして「才能だけでは結果は出せない。」「人生の長いマラソンでどこまで頑張れるかは、圧倒的に『努力』にかかっている。」とも言っています。また、彼女は、日本のことわざである『七転び八起き (Fall seven, rise eight)』にも触れながら、こう言っています。「『やり抜く力』は、『自分たちの努力次第で将来はよくなる』という信念に基づいている。“明日はきっといい日になる”と“明日はもっといい日にしてみせる”では大違いである。『やり抜く力』を持つ人々にとって“運”は無関係であり、何度でも立ち上がろうとすること、それがすべてだ。」と。誰でも逆境や挫折を経験することはありますが、『才能』にこだわっていると「自分は何をやってもダメだ」と悲観的に考えます。一方、『努力』を信念に抱くと、「効率のよいやり方ができなかった、どうにかできる」と楽観的に、問題として対処しようとする傾向があるとのこと。こんな研究も紹介しています。「コーチたちが各選手に、自分のいちばん得意な種目で泳ぐように指示をした。そして泳ぎ終わった選手に、わざと実際よりも少し遅いタイムを告げた。その後、各選手はもう一度チャンスをもらって泳いだ。すると、楽観主義者たちのタイムは少なくとも最初と同じレベルだったが、悲観主義者たちのタイムは大幅に遅くなってしまった。」つまり『やり抜く力』には“心の持ちよう”も大切な要素であると言えます。さらに「自分の『やり抜く力』を強化したいなら、『やり抜く力』の強い文化を見つけ、その一員となること。あなたがリーダーの立場にあり、組織のメンバーの『やり抜く力』を強化したいなら、『やり抜く力』の強い文化をつくりだすことだ。」ここでは、『やり抜く力』を持つ集団・組織も重要であることが示されています。

2学期が始まりました。学習に、運動に、そしていい仲間づくりにいっそう勤しむことが期待される学期です。中間考査や期末考査、合唱コンクールや文化発表会、部活動の新人戦、3年生にとっては自分の進路を決める事等、その取組の中で、『やり抜く力』を身に付け、日々お互いに磨き上げ、切磋琢磨できる、誇りに思う学級、学校をつくりあげていきましょう。体育大会を経験した守恒中生一人一人の頑張りを期待しています。



◆第31回体育大会◆ 「一意奮闘～輝け絆 燃やせ闘志～」 平成29年9月18日（月）

台風の影響で1日順延となり前日準備もできないままの開催となりましたが、早朝より先生・生徒の皆さんが懸命に準備に取り組み、定刻通り体育大会の幕が開きました。最初の入場行進から、全員の足並みと吹奏楽部の演奏、体育委員長の号令そして全員の心がびたりと揃った、大会の成功を確信するすばらしい行進になりました。その後の演技や応援、係活動、最後の校歌合唱まで「一所懸命は美しい」ことを体現できた一日となりました。保護者の皆様、地域の皆様、温かい応援とご支援を本当にありがとうございました。



100m走



野越え山越え



二人三脚走



男女混合リレー



棒引き



MUKADE



変化100%



騎馬戦



学級全員リレー



Water KIDS



FOLLOW ☆ME by M-girls



校歌斉唱



部活動紹介



3年生集合